

中国地方整備局総合評価審査委員会 第1部会(第5回)開催結果の概要

1. 日時：平成23年8月23日（火）14:00～16:00
2. 場所：合同庁舎2号館6階7号会議室
3. 出席委員：

第1部会 会長	今岡 務	広島工業大学環境学部
第1部会 委員	米倉 亜州夫	広島大学名誉教授
第1部会 委員	大久保 孝昭	広島大学大学院工学研究科
第1部会 委員	戸田 常一	広島大学大学院社会科学研究科

4. 議事次第：

- (1) 審査対象工事の全体説明
 - 審査対象工事件数・・・全8件
 - <件数の内訳>
 - ・技術提案の審査（入札前審査・・・4件）

表1【標準型（Ⅱ型）】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
機械設備	-	1	-	-	-	1
計	0	1	0	0	0	1

表2【簡易型】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
暖冷房衛生設備	-	1	-	-	-	1
建築	-	2	-	-	-	2
計	0	3	0	0	0	3

- ・評価項目・加算点の審査（公告前審査・・・4件）

表3【標準Ⅰ型】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
鋼橋上部	-	-	-	-	2	2
建築	-	-	-	1	-	1
計	0	0	0	1	2	3

表4【標準Ⅱ】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
鋼橋上部	-	-	-	1	-	1
計	0	0	0	1	0	1

・ 施工体制確認方 開札後整理案件・・・2件

表5【標準型（Ⅰ型）】（施工体制確認型）

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	-	-	1	1	2
計	0	0	0	1	1	2

(2) 審査対象業務の全体説明

1) 審査対象業務件数・・・全8件

<件数の内訳>

・ 評価項目・加算点の審査（公示前審査・・・1件）

表6 プロポーザル方式

工種	公募型	簡易公募型	標準型
調査・検討	-	1	-
計	0	1	0

・ 評価項目・加算点の審査（特定前審査・・・7件）

表8 総合評価方式

工種	一般競争入札	
	簡易型	標準型
設計	1	-
計	1	0

表10 プロポーザル方式

工種	公募型	簡易公募型	標準型
調査・検討	-	5	-
実施設計等	-	-	1
計	0	5	1

5. 主な意見の概要

(工事審査)

- 技術提案の評価項目によっては、満点となる社が多くなる中で変えていくものはないか。
→品質にかかる評価項目については続けていくべきと考える。また、標準Ⅰ型の場合においては品質とは別に、社会的要請に係る評価項目を求めており、そこでの評価点はバラツキがある状況。

(業務審査)

【中山間地域交流連携基盤整備検討業務】

【広島湾流総基本方針策定調査業務】

- 評価値のかなり低い社があるが、業務実績がないせいかな
→有益な代替案、重要事項の指摘、提案内容の類似実績の記載がなかったことから、当該評価項目の評価点が0となったことが大きい
技術提案書の作成にあたって評価項目を十分に理解していなかったことによるものとする

【大規模地震防災課題検討業務】

- 技術提案書提出段階で辞退した社の代わりに、参加表明者の中から1社を追加することはしないのか
→辞退の時点で既に他社には、期限を切って技術提案書の依頼をしておき、スケジュール的に整合が図れないので、追加はしていない
- 技術提案書提出段階で辞退した社に対してペナルティはあるのか
→特定後に辞退した場合にはペナルティを課すが、手続きの途中の段階での辞退にはペナルティを課していない

【下半期入札・契約の基本方針（案）（業務）について】

- 「マネジメント実務経験」は定性的で、評価が曖昧になるのではないか
→マネジメント実務経験は運用上「建設コンサルタント登録規程の技術管理者」及び「行政側の総括監督員、主任監督員」と明確に定義し、説明書に明記している

その他、評価手法及び評価に関する助言を頂く

日 時：平成23年8月23日（火）14：00～

場 所：合同庁舎2号館 6階議室

平成23年度 中国地方整備局総合評価審査委員会 第一部会(第5回)

議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

【工事関係審査】

- 1) 審査対象工事の全体説明
- 2) 審査対象工事の個別説明

【業務関係審査】

- 3) 審査対象業務の全体説明
- 4) 審査対象業務の個別説明
- 5) 平成23年度下半期入札・契約の基本方針（案）

4. 閉 会